



▲草刈りなどを行う地区住民

「はまぼう」の名所に向けて

～はまぼう群生地整備～

5/30
新和

5月30日、新和町小宮地地区にある約4ヘクタールの「はまぼう群生地」で、草刈りや雑木の伐採が行われました。これは、はまぼうが市の花として制定されたことをきっかけに、県内でも最大級の群生地といわれる同地を、多くの人たちに知ってもらおうと開花を前に実施。小宮地・大宮地地区の農地環境整備活動組織と、同地区振興会員あわせて40人が作業を行いました。例年7月から8月上旬にかけて黄色い花を咲かせます。皆さん、ぜひご覧ください。

「ホタルの里できらめく城河原」を目ざして

～ホタルフェスタ～

5/30
五和

5月30日、城河原小学校で“ホタルフェスタ”が開催されました。これは、城河原地域づくり振興会が「ホタルの里できらめく城河原」を目ざし開催しているもので、今年で8回目。会場には、浴衣姿の家族連れなど約2,000人が訪れ、同校児童による環境学習の発表や物産市、地元産品が当たる大抽選会などを楽しみました。また、地域で整備したホタルの散歩道に竹灯ろうが置かれ、静けさの中で幻想的に舞うホタルの明かりを楽しむ姿が見られました。



▲浴衣姿で物産市を楽しむ来場者



▲甘夏のさわやかな味わいをどうぞ

天草産の甘夏が大変身！

～甘夏酎ハイ全国発売～

5/30
有明

有明町上津浦の松崎正司さん（左写真）が栽培した甘夏を使った缶酎ハイ（炭酸水で割った焼酎）が、7月7日から期間限定で全国発売されることになりました。松崎さんは、天草柑橘組合の代表で、甘夏栽培歴50年以上の大ベテラン。同組合は安心・安全をモットーに、産地の品質向上に率先して取り組んでおり、この姿勢が飲料メーカーの目に止まったもの。松崎さんは「甘夏をはじめ、天草のかんきつ類をPRするきっかけになれば」と話していました。

ホタルの舞にさそわれて

～第7回ホタルの里・ふれあいの集い～

5/30
河浦

5月中旬から6月初旬にかけて、河浦町内の川ではたくさんのホタルが飛び交い、人の心を和ませてくれます。今富地域交流施設では5月30日、「ホタルの里・ふれあいの集い」が行われました。これは、地域の自然にふれ、環境について考えようと地区住民が実行委員会を組織し毎年実施しているもの。富津小学校児童による太鼓の演奏や河浦音頭の披露のほか、物産販売、もち投げなども行われ、地元住民約300人が集い大いに盛り上がりしました。



▲富津小学校の児童による太鼓の演奏



Treasure Island Topics 宝島の話

火災で逃げ遅れた女性を救出

～初期消火と人命救助で表彰～

5/14
牛深

5月14日、天草広域連合消防本部は、火災で迅速な初期消火を行い逃げ遅れた女性を救助した、魚貴町の上揚任隆さんと小崎力也さんに表彰状を贈りました。火災は4月1日午後0時50分ごろ、同町の住宅で発生。近くを通った上揚さんが火災を発見し、近所の人に消防署への通報を依頼。その後、火災現場に遭遇した小崎さんとともに消火活動を行い、火元付近で倒れていた82歳の女性を救助しました。2人は「女性が無事でよかった」と話していました。



▲表彰を受けた上揚任隆さん（左）と小崎力也さん（右）



▲収穫は9月ごろの予定です。お楽しみに！

遊休農地をなくそう！

～食用ひまわりの種まき作業～

5/17
栖本

5月17日、山浦地区の遊休農地など35アールで、食用ひまわりの種まき作業が行われました。これは、栖本地区振興会が、「ひまわり」を活用した商品を開発しようと、昨年から取り組んでいるもの。当日は、同振興会の環境部会員や有志など13人が参加。あいにくの雨でびしょ濡れになりながらも、和気あいあいの中で作業を進めていました。収穫は9月ごろの予定で、取れた種は加工し、11月に開催する「栖本かつぱ祭り」で販売する予定です。

笑顔あふれるミニ運動会！

～御所浦北保育所・ミニ運動会～

5/28
御所浦

5月28日、御所浦北保育所で「ミニ運動会」が開催されました。これは、同保育所が園児と祖父母との交流を深めることなどを目的として毎年開催。当日は、天候にも恵まれ、20人の園児と祖父母などが参加。お互い協力しあっているよう競走や、綱引きなどが行われ、参加しても見ても楽しく、会場内は終始笑い声で包まれていました。参加した園児は「おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに遊べて楽しかった」と笑顔で話していました。



▲おじいちゃん、おばあちゃんといっしょに“エイ、エイ”